

“As the Deer” (『鹿のように』)は、2000年以上にわたる教会音楽の歴史と、1960-70年代アメリカの若者文化が融合して誕生した現代的キリスト教音楽の名曲の一つで、アメリカのシンガーソングライター、マーティン・J・ニストローム(Martin J. Nystrom)によって1981年に作詞・作曲されました。

歌詞は、聖書の詩篇42篇1節(「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように 神よ私のたましいはあなたを慕いあえぎます」)等から採られ、非常に優しく静かなメロディーに載せて祈りの如く歌われます。

この讃美歌はこれ迄に数十とも言われる言語に翻訳され、国境や教派を超えて親しまれており、我が国では安田諭氏により翻訳され、リビングプレイズ69番「鹿のように(As The Deer)」として1995年に出版され、教会福音讃美歌192番にも収録されています。

■ 作者略歴

マーティンは1956年にワシントン州シアトルで生まれました。彼の母親は改革派教会で、父親は福音派コヴナント教会で育ちました。彼は1979年、オーラル・ロバーツ大学で学位(音楽教育学士)を取得後、音楽伝道師として働きはじめました。

■ “as the deer”誕生の背景

“as the deer”は、マーティンが20代前半の夏、失恋と多くの活動から来る霊的ストレスにより深刻な憂鬱の中にいた1981年に生まれました。彼は友人の勧めで、テキサス州ダラスにあるキリスト・フォー・ザ・ネイションズ・インスティテュートの夏期講習に参加し、熱心なクリスチャンであったルームメイトから断食を勧められました。その断食19日目、彼が空腹と渇きの中でピアノに向かった時、譜面台に置かれていた聖書の詩篇42篇が目に入った瞬間にインスピレーションを与えられ、詩篇42篇の言葉を歌い始め、ごく短時間に最初の節と現行の繰り返し部(サビ)を完成させました。

もともとは個人的デボーションのために書かれ、公開する意図はなかったそうですが、聖書学校を去る前に友人に紹介したことが契機となり、1984年に出版され無名の歌から世界への第一歩を踏み出しました。

その後、カナダ合同教会の讃美歌集『Voices United』(1996年出版、第766番、現在もカナダ合同教会で広く使われている現行の讃美歌集)の編集者たちは42篇の全体的な文脈を網羅させるため、王立音楽院でも活動した音楽ディレクターのリディア・ペダーソン(Lydia Pedersen)に依頼して2節と3節を追加しました。この結果、アメリカ福音宣教聖公会『Covenant Hymnal: A Worshipbook』(1996年、第2番)など、主要な讃美歌集に収録され、今日では数多くの言語に翻訳される名曲となりました。

■ 参考資料:

- ・リビングプレイズ69番「鹿のように」 <https://sanbikashi.net/as-the-deer/>
- ・“As The Deer” <https://www.youtube.com/watch?v=d48TRWyU2ZY>
- ・讃美歌の歴史:「鹿のように」、C・マイケル・ホーン著
<https://www.umcdiscipleship.org/resources/history-of-hymns-as-the-deer>
- ・Martin Nystrom 自身が語る楽曲誕生の背景や、歌詞が持つ力についての動画:
<https://www.youtube.com/watch?v=1fzq9SVKpC8>